

平成30年 4月19日

上ノ国町議会議長

石澤 一 明 様

氏 名 市 山 昭 義



平成29年度政務活動費に係る収支報告について

上ノ国町議会政務活動費の交付に関する条例第8条第1項に基づき、別紙のとおり平成29年度政務活動費収支報告書を提出します。

政務活動報告書

1 政務活動名

農業、漁業の振興先進地視察調査

2 政務活動内容

農業の六次産業化を視察調査

- ① (株)六星 11月8日午前9時から石川県白山市にある農業法人、(株)六星に行き、沿革や経緯や現状などを視察調査

沿革

昭和52年 レタス農家5戸で生産組織を設立

昭和57年 組織の強化を図ることを目的に「農事組合法人六星生産組合」に改編

昭和57年 加工製造販売に取り組み開始、かきもちを販売開始

平成元年 「(有)六星生産組合」に改編、若手社員が入社し始める。

平成7～8年 100ha規模のライスセンター建設、加工場、直売店を移転新築

平成14年 無農薬、無化学肥料栽培米の生産を開始

平成19年 (株)六星に改編、創業者から後継者へ承継

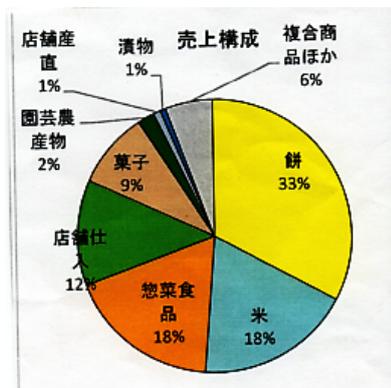
平成22年 直売店2点目「むつつぼし金沢百番街店」オープン

平成23年 直売店3点目「むつつぼし金沢長坂店」オープン

平成25年 「豆餅すずめ」「お福分け」をブランド化

平成26年 全国農業祭で内閣総理大臣賞を受賞

平成28年 直売店4点目「むつつぼし近江町市場店」オープン



注) 1 政務活動名には、実施した活動名を記載する。

(例～〇〇調査研究、〇〇研修、〇〇広報・広聴、〇〇会議など)

2 政務活動内容及び政務活動成果には、具体的な内容とその成果を記載する。

現在の経営規模は水田142, 7ha、畑5, 4haで、従業員は45名、パート81名で平均年齢は34才です。販売品目は無農薬野菜、無肥料栽培の米や米を利用した各種もち、お菓子、野菜を使った各種惣菜や弁当、野菜の直売やレストラン経営など、生産から加工、販売まで6次産業化しています。

総収入は11億円を超えるとのこと。

②(株)ぶった農産 10時30分からすぐ近くにある、野々市市の農業法人を視察調査、佛田社長から説明を受ける。

沿革、これまでの経緯

昭和51年 野々市水稻受託組合が組織され、佛田孝治が252aの農地を借入し、専業農家となる

昭和55年 金沢青かぶを利用して、かぶら寿しの加工販売を始める。乾燥能力12トン(日量)のミニライスセンターを建設

昭和61年 第15回日本農業賞、第25回天皇杯受賞。直売店舗設置

昭和63年 農業生産法人(有)ぶった農産へ組織改編

平成2年 特別栽培米を始める。店舗の通年営業開始

平成3年 加工品の多品目化。民間局地気象情報の利用開始

平成9年 野菜の有機栽培に取り組む

平成13年 (株)ぶった農産に組織改編、社長に佛田利弘がなる

平成26年 金沢駅百番街あんとへ出店、甘えびせんべい販売開始

平成28年 加賀玄米棒茶、加賀玄米煎茶を販売開始



(直売店陳列棚)

現在の経営規模は水田28ha、畑3haで従業員数は正社員11名、パート12名です。販売品目は特別栽培米の米や、魚と野菜を使ったかぶら寿司、野菜を利用した各種漬物類です。売上高は1億2千万円です。

注) 1 政務活動名には、実施した活動名を記載する。

(例～〇〇調査研究、〇〇研修、〇〇広報・広聴、〇〇会議など)

2 政務活動内容及び政務活動成果には、具体的な内容とその成果を記載する。

漁業の種苗生産施設の視察調査

- ① 石川県水産総合センター（志賀事業所） 11月8日午後1時30分から同施設のヒラメ、クロダイ、アワビ、サザエ、アカガイの種苗生産施設を濱上所長の案内で視察調査をした。

施設の沿革

- 昭和63年 電源交付金5.75億円で建設
平成元年 管理棟を0.33億円で整備
平成3年 取水管延長工事を0.39億円で整備
平成10年 温排水利用種苗生産施設を22.85億円で建設
平成12年 広報、研修棟を整備



この施設は、隣接する原子力発電所の冷却水を、最大750 t/h利用し自然海水と組み合わせている（発電所から放出される量の200分の1程度）ので、ポンプの維持費だけですむ。

現在、原子力発電所は休止中で、重油で水温を調整しているため、かなりのコスト高になるとの事です。

(孵化状況調査)



- 注) 1 政務活動名には、実施した活動名を記載する。
(例～〇〇調査研究、〇〇研修、〇〇広報・広聴、〇〇会議など)
2 政務活動内容及び政務活動成果には、具体的な内容とその成果を記載する。

温排水利用の利点

ヒラメの産卵促進が可能
早期生産が可能になる

- ① 餌のアミエビが多い
6月に放流できる…
…稚魚が餌に遭遇し
やすい

- ② 天然ヒラメと同じ大
型サイズで放流でき
る……天然ヒラメに食害されにくくなる

- ③ 夏の高温期の前に中間育成が終了する……中間育成がしやすくなる
センターでは漁業者などに種苗を供給している

センターの種苗配布価格は下記の通りとなっている

ヒラメ	平均全長 100mm	1尾 40円	放流用
ヒラメ	平均全長 80mm	1尾 80円	養殖用
クロダイ	平均全長 50mm	1尾 9円	放流用
クロダイ	平均全長 50mm	1尾 30円	養殖用
アワビ	殻長 16~20mm	1個 20円	放流用
アワビ	殻長 16~20mm	1個 30円	養殖用
サザエ	体重 2.5g内外	1kg 4,800円	放流用
アカガイ	殻長 2mm	1個 1円	(生産水槽)

ヒラメ		アワビ	
年数	大きさの目安	年数	大きさの目安
放流時	全長 10cm	放流時	殻長 2cm
1年後	20	1年後	4
2	35	2	6
3	45	3	8
		4	9.5
		5	10.8
		6	12.1

は漁獲サイズ

3 政務活動の成果

農業の6次産業化による振興事例では、農業者のモデルを視察調査したが、

- ① (株)六星は、白山市の農地の大半を借入、購入して地域農業を守っている。高齢化が進んで農業が崩壊していく中、若い世代の人が、農業に挑戦し、栽培する農産物ををすべて加工販売している。150ha程の経営規模で総収入11億円を超えるのは、驚くべき数字である。これは、長年にわたって人材育成してきた成果であると感じた。
- ② (株)ぶった農産は経営規模30ha程で、どこにでもある規模の農家で、身の丈にあった経営の見本と思う。ここでは米の販売は精米と玄米煎茶だけで、野菜と魚を利用したかぶら寿しのほか、ほとんどが漬物類である。面積換算すると10a当たり40万円位になる。本町の農業者は、一部精米加工して販売しているが、ほとんどが原料を系統販売しているため、米で10a当たり10万円以下の売り上げの農家が多い。これからは、農産物に付加価値をつけて売る事を考えないと、町の目指し

注) 1 政務活動名には、実施した活動名を記載する。

(例～○○調査研究、○○研修、○○広報・広聴、○○会議など)

2 政務活動内容及び政務活動成果には、具体的な内容とその成果を記載する

別紙

ている農業の振興は不可能であると思います。

石川県水産総合センターは、電源交付金で建設されたため、設備が整っており、特に省力のための機械器具が整備されている。県の漁業者は、沖合漁業から養殖漁業に転換し、真剣に養殖に取り組んでおり、かなり成果が上がっているとの事。本町は限られた養殖漁業環境にあるが、栽培漁業センターや港湾、海洋牧場など、今ある施設の有効活用を図り、漁業振興を図ることが求められています。

注) 1 政務活動名には、実施した活動名を記載する。

(例～〇〇調査研究、〇〇研修、〇〇広報・広聴、〇〇会議など)

2 政務活動内容及び政務活動成果には、具体的な内容とその成果を記載する